

第 25 期

メ ッ ツ レ ポ ー ト
(第 2 四半期事業報告書)

自 平成24年 4 月 1 日

至 平成24年 9 月 30 日

MET'S
CORPORATION

株式会社メッツ

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素から格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第25期第2四半期(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)のレポートをお送りさせていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

さて、当社は今期に経営陣の刷新を行い、「Reborn MET'S for all」をキャッチフレーズに事業推進しております。当第2四半期は新体制への移行による事業および組織の再構築、お取引先様との関係・連携強化に努め、事業体制の基礎の確立を行いました。株主の皆様のご期待に沿うべく、事業を成長させること、安定的に利益を上げて強い経営基盤を確立することを目指してまいります。また、企業価値を高めるために、今期6月に策定しました企業理念のM：mission【使命】／E：enjoyable【楽しく】／T：townscape【都市の風景】／S：supply【提供する】、「皆様に楽しい都市風景を提供することが使命」を根幹として、MET'Sブランドを強くしていく必要があると考えております。

役職員一同、総力を挙げて事業に邁進し、コスト、組織、人財活用など、あらゆる観点から自らの変革を加速するとともに、徹底的に地域とお取引先様の視点に立った事業活動を推進することで、成長を実現してまいります。企業価値を高め、株主の皆様の利益を追求していく所存です。引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長 秋 山 賢 一

当第2四半期の営業の概況

市場の動向および営業の経過と成果

(当社を取り巻く事業環境について)

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災復興関連需要を背景に、個人消費や民間設備投資には緩やかな持ち直しの動きがみられましたが、欧州債務危機の長期化、中国をはじめとする新興国経済の減速等による世界経済の停滞や、円高、デフレ、雇用環境の改善の遅れなど、依然として景気の先行きは不透明なまま推移いたしました。

(事業の概況について)

当社は今期より東京駅を中心とした開発の増大に伴う地理的優位性がある都心3区および新名所の開業と住宅一次所得者層獲得を図る城東地区（葛飾区、墨田区、江東区、江戸川区など）、東京へ20～30分でアクセス可能であり住環境も良好な東葛地区（千葉県松戸市、柏市、船橋市、市川市など）を事業対象の重点地区としております。また、事業性が確認できれば対象地域を最大で日本全国まで拡大し、事業機会の増大と収益力の強化を図っております。この事業方針に沿って営業活動を進めております。また新たに「ジョイントベンチャー展開」および「土地有効活用のコンサルティングや仲介展開」も開始し、事業拡大と収益機会の増大を図っております。

当社の不動産事業におきましては、第1四半期終了時点では販売用不動産を保有していない状況にありました。このため当第2四半期は、利益の源泉となる販売用不動産の取得および売却、ならびに不動産仲介への注力が必須であり、これらを軸とし、事業を推し進めてまいりました。その結果、当第2四半期において複数案件の不動産取得および売買を完了しております。また更なる不動産取得に向けた多くの案件交渉が進行中であり、今後の不動産取得に向けた足場固めが順調に進みました。一方、不動産仲介においても利益の獲得、案件の増大を実現しており、不動産販売および仲介事業において取引実績を着実に積み重ねております。

また資金調達については、新たに複数の金融機関との取引を開始しており、資金調達の円滑化、多様化に努めております。なお借入金等の有利子負債による資金調達においては、財務の安定性確保および将来の金利上昇リスクを回避する目的として、有利子負債の返済期限の分散ならびに金利の固定化に留意した資金調達を財務の基本方針としています。

その他として、ホームページをスマートフォン対応にリニューアルし、より手軽に当社情報に接していただける環境を整える等、IRおよびPRの充実にも取り組みました。

(当第2四半期の業績について)

このように、当第2四半期におきましては、主に次四半期あるいは次期以降の不動産事業の利益の源泉となる販売用不動産の取得を推進する期間として推移いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は49,258千円（前年同四半期比49,108千円の増収）となりました。営業損失は65,311千円（前年同四半期比160千円の悪化）、経常損失は65,092千円（前年同四半期比731千円の悪化）、四半期純損失は65,697千円（前年同四半期比2,528千円の改善）となりました。これにより1株当たり四半期純損失は134円68銭となりました。

当第2四半期のセグメント別業績

(不動産事業)

■不動産取得販売

当第2四半期において今期および次期以降の利益の源泉となる不動産物件の取得を進めました。主な案件としては東京都北区において収益アパートメント1棟を、また東京都千代田区では区分分譲マンション1戸を取得、さらに栃木県と北海道において区分分譲マンションをそれぞれ2戸と1戸取得しました。なお、東京都北区および千代田区の物件は既に売却しております。

以上のように不動産売買取引実績を積み上げております。これら取得地域はすべて当社において初の事業地域となっており、事業地域拡大も確実に図っております。また、今期末の売上計上に向けた大型案件の引き合いを筆頭に、多数の案件を抱えており、これらの成約に向け交渉を進めております。

■不動産仲介

不動産売買仲介は新規のキャッシュアウトを必要とせず、不動産事業の収益機会の追求を可能とし、仲介手数料の受領による利益を見込めます。

当第2四半期においては千葉県において一棟収益ビルディング、栃木県において土地売買の仲介、計2件成約しております。

■ジョイントベンチャー展開および土地有効活用等のコンサルティング

ジョイントベンチャー展開については複数案件の交渉を進めておりますが、当第2四半期においては契約に至った案件はございません。成約に向けて今後も継続して取り組んでまいります。

(IT事業)

今期においては不動産事業に集中する方針をとっております。現時点においては、次期以降に今後、不動産事業の付加価値を最大化させるための新たなITシステムの企画・開発等、収益に結び付ける施策を策定中であり、収益獲得には至っておりません。

通期の見通し

今期の事業計画である販売用不動産の取得と不動産売買仲介、住宅・ビル・物流・店舗および宿泊施設の各チャンネルにて開発を含めた組み立てスキームを当社で企画し、販売先までを見据えたビジネススキームを構築するジョイントベンチャー・土地有効活用コンサルティング及び仲介展開を加速させてまいります。

特に不動産事業の不動産取得販売において、今期末の売上計上に向けた大型案件の引き合いがあり、この案件の成約に全力を尽くし収益の確保を目指してまいります。

平成25年3月期の通期業績予想につきましては、平成24年4月25日に公表いたしました「平成24年3月期決算短信」における業績予想から変更はなく、通期売上高1,100百万円、営業利益19百万円、経常利益10百万円、当期純利益10百万円と黒字化を目指してまいります。

なお、当社の業績は、売上構成比率の高い販売用不動産の売却時期によって大きく変動してきます。通期業績予想は、既に取得済みの販売用不動産を含め、今後取得する販売用不動産を売却した場合を想定した上で算出しております。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えてください。

四半期貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)	前事業年度 (平成24年3月31日)
		金額	金額
	(資産の部)		
I	流動資産		
1.	現金及び預金	125,647	200,064
2.	売掛金	—	537
3.	未収入金	1,203	34
4.	販売用不動産	1,497	—
5.	前払費用	354	542
6.	貸倒引当金	—	△441
7.	その他の	26	—
	流動資産合計	128,727	200,737
II	固定資産		
1.	有形固定資産	3,192	—
2.	無形固定資産	—	—
3.	投資その他の資産	17,651	11,136
	固定資産合計	20,843	11,136
	資産合計	149,573	211,874
	(負債の部)		
I	流動負債		
1.	未払金	1,213	139
2.	未払費用	4,969	2,687
3.	未払法人税等	7,117	7,187
4.	その他の	112	—
	流動負債合計	13,412	10,015
	負債合計	13,412	10,015
	(純資産の部)		
I	株主資本		
1.	資本金	2,346,750	2,346,750
2.	資本剰余金	3,120,187	3,120,187
3.	利益剰余金	△5,330,776	△5,265,078
	株主資本合計	136,160	201,858
	純資産合計	136,160	201,858
	負債・純資産合計	149,573	211,874

四半期損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
		金 額
I 売 上 高		49,258
II 売 上 原 価		43,781
売 上 総 利 益		5,476
III 販売費及び一般管理費		70,788
営 業 損 失 (△)		△65,311
IV 営 業 外 収 益		
受 取 利 息		17
そ の 他		200
営 業 外 収 益 合 計		218
V 営 業 外 費 用		
営 業 外 費 用 合 計		—
経 常 損 失 (△)		△65,092
VI 特 別 損 失		
特 別 損 失 合 計		—
税引前四半期純損失(△)		△65,092
法人税、住民税及び事業税		605
法 人 税 等 合 計		605
四 半 期 純 損 失 (△)		△65,697

(注) 1株当たり四半期純損失

134円68銭

四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
区 分	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1. 税引前四半期純損失(△)	△65,092
2. 減価償却費	194
3. 貸倒引当金の増減額(△は減少)	△441
4. 受取利息	△17
5. 売上債権の増減額(△は増加)	537
6. 販売用不動産の増減額(△は増加)	△1,497
7. その他	1,602
小 計	△64,715
8. 利息の受取額	14
9. 法人税等の支払額	△605
営業活動によるキャッシュ・フロー	△65,306
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1. 有形固定資産の取得による支出	△3,386
2. 敷金の回収による収入	1,136
3. 敷金及び保証金の差入による支出	△6,860
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,110
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
財務活動によるキャッシュ・フロー	—
IV 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△74,416
V 現金及び現金同等物の期首残高	200,064
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	125,647

会社概況 (平成24年9月30日現在)

■ 商号	株式会社メッツ
■ 本社所在地	東京都港区西新橋三丁目13番7号 MG愛宕ビルディング
■ 資本金	23億4,675万円
■ 従業員数	6名
■ 役員	代表取締役社長 秋山賢一 取締役長 井光夫 取締役 山賀保仁 常勤監査役 天笠勝 監査役 早川裕司 監査役 渡邊守

株式の概況 (平成24年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	1,951,200株
■ 発行済株式の総数	487,800株
■ 株主数	5,889名
■ 大株主 (上位10名)	

株主名	持株数	議決権比率
吉野勝秀	271,126 株	55.58 %
CBHK-KOREA SECURITIES DEPOSITORY-MIRAE ASSET SECURITIES CO LTD	8,719	1.78
大塵純	6,099	1.76
日本証券金融株式会社	2,963	1.25
野村証券株式会社	4,987	1.02
神戸幸香	4,245	0.87
阿部有紀	4,198	0.86
矢部喜美代	3,816	0.78
玉木謙市	3,400	0.69
マネックス証券株式会社	3,224	0.66

株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
決算期日	3月31日
定時株主総会	6月
公告の方法	当社のホームページに掲載します。 (http://www.metscorp.co.jp/ir_koukoku.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
財務情報掲載の ホームページアドレス	http://www.metscorp.co.jp/irlibrary
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
証券コード	4744

当社が東京証券取引所等へ正式に開示しましたIRに関する発表資料および当社IRページの更新情報などをメールにてお送りします。ご希望の方は、当社ホームページ (<http://www.metscorp.co.jp/irmail>) よりご登録ください。

株式会社メッツ

〒105-0003 東京都港区西新橋三丁目13番7号

MG愛宕ビルディング

ホームページURL : <http://www.metscorp.co.jp/>

E-mail : info@metscorp.co.jp